

みんなとともに笑顔いっぱい



みんなとともに

**「卒業」、そして「修了」おめでとうございます！**

過日「判定会」を行い、全員の卒業及び進級が確定しています。「子どもたちの健やかな成長」に寄与できるよう、本校教職員は「日々の充実した教育活動の推進」に努めてきました。保護者の皆様の「あたたかなご支援」に感謝申し上げ、今年度の「学校だより」を閉じることにします。

**修了式での校長の話（平成31年3月20日（水））**

今年度の授業日は、209日です。きょうは、208日目ということになります。1年間が経とうとしている今、振り返ってみると長かったような気もするし、短かったような気もします。

さて、私は「学校だより」というおたよりを作って、みなさんのお家の方にお渡ししています。どんなことを書いていたか、振り返ってみます。

4月27日発行の「第4号」です。

雨が降った日に、ある子に「すてきな傘だね」と声をかけると、「ありがとうございます」と答えます。また、別な子に「傘の色がいいね」と声をかけると、やっぱり「ありがとうございます」と答えます。ほめられて、どう振る舞ってよいか分からずにモジモジするのはなく、本当に自然に「ありがとうございます」と言えるのが、とってもステキに感じました。

清明小学校には、あいさつの約束「さあいこーごお」がありますね。自然なあいさつがとてもよかったです。

6月8日発行の「第9号」です。

校庭の赤いカラーコーンが2つ倒れているのが、校舎の2階から見えました。ちょうど昼休みが終わったときで、誰か気づいて直してくれないかなあ、と思ってみていました。すると、・・・、上学年の男子の大きな集団が通った後に、その2つのコーンは直っていたのでした。「陰徳を積む」と言う話を全校集会でしましたが、具現化した姿が見られてとてもうれしかったです。

特に1学期は、「陰徳を積む」の話をみなさんにしました。進んでよい行いをする姿が見られました。

7月20日発行の「第15号」です。

先日、保健委員会の子どもが、「校長先生、私たち“保健だより”をつくりました」と、こっそり教えてくれました。「えっ、子どもが？」と一瞬思いましたが、「熱中症予防」について考える、とてもためになる“保健だより”ができました。子どもたちが進んで活動する姿が随所に見られ、うれしい限りです。“子ども版保健だより”を参考に、暑い夏を乗り切ろうと思います。

委員会や係の仕事にも熱心に取り組みました。誰かのために働く姿もたくさん見られました。

3月1日発行の「第33号」です。

「コカリナ贈呈式」を終え、講師の黒坂さんと矢口さんが「とてもよい子どもたちですね。音楽に親しむ態度ができていますし、反応がいいですね」と子どもたちをほめてくださいました。続けて「子どもたちが先生方に愛されている雰囲気を感じました」と話をされました。東京を中心に多くの学校を訪問している方の感覚なので、言葉をそのままありがたういただくことにしました。

一番変わったと思うのは、皆さんの話を聞く態度です。集会での態度がとってもよくなりました。お客さんがいつもほめてくださいます。

さて、最後に、「第41号」を紹介して終わりにします。

本校の児童を「どんな子に育てたいか」を自問自答しますが、最近は「よい習慣を身に付けた子に育てたい」と考えています。「よいこと」が一度できてもそれは「点」ですが、何度もできると「点線」になります。それが、「習慣」になると「線」になります。いろいろな「よい習慣」が身に付くと「面」になります。そのためには、他律ではなく「自律」が大切だと考えています。

4月8日（月）に一つ学年が上がった皆さんと会います。来年度は、みなさんが「よい習慣」をたくさん身に付けることができるように先生方とがんばっていきたくと思っています。

例えば、家庭での勉強の習慣が身に付いて、お家の人に「ご飯だよ」と言われても、「いまいいところだから、もう少し勉強する」なんて言って、お家の人を困らせるぐらいの子どもに育ててほしいと願っています。ちなみに、ゲームをやり過ぎる習慣は、「よい習慣」ではないので、お間違いなく。

明後日の卒業式が大成功に終わって、よい1年の締めくくりになることを願って、修了式の話とします。